



銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498

平成30年9月期第2四半期 決算説明会

平成30年5月30日

代表取締役社長 野崎 秀則



プレゼンテーション・アウトライン

- I : ACKグループのご紹介
- II : 今回の決算説明会のポイント
- III : 平成30年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト
- IV : 平成30年9月期 通期業績見通し
- V : 質疑応答

I : ACKグループのご紹介



(1) ACKグループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
着実に成長してまいりました。

1957年	○株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成 ○株式公開 (現JASDAQ)
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを創立 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画

1957年～



ORICONSUL



1999年～



ORICONSUL
GROUP



2006年～



ACKG

(2) ACKグループの提供サービス

海外・国内公共・国内民間の社会インフラを対象に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】ACKグループが対象とする社会インフラ(抜粋)

(3)グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	道路・交通・河川・防災・都市・環境・プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、 人材マネジメント など

主要な連結会社を記載

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



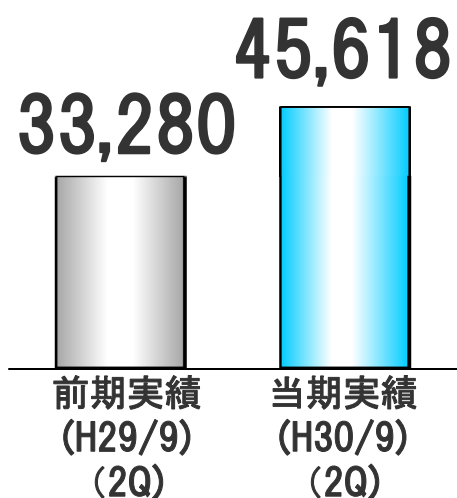
今回の決算説明会のポイント

1

- 前期に引き続き、受注高、受注残高とも大幅増加
- 特に、海外事業の大型案件受注が牽引

<受注高>

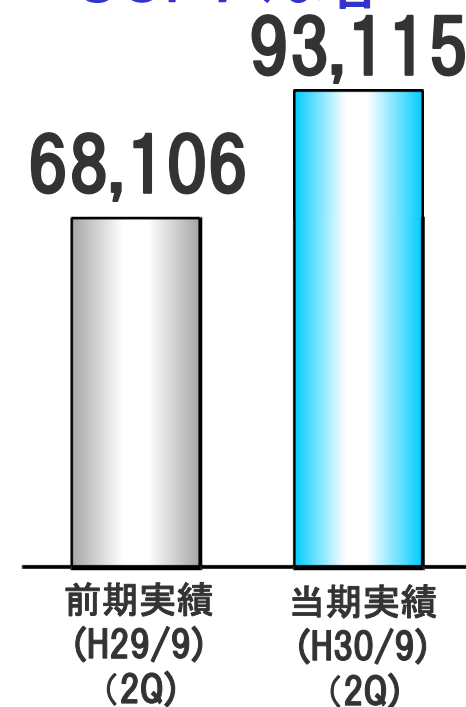
37.1%増



<受注残高>

単位: 百万円

36.7%増



今回の決算説明会のポイント

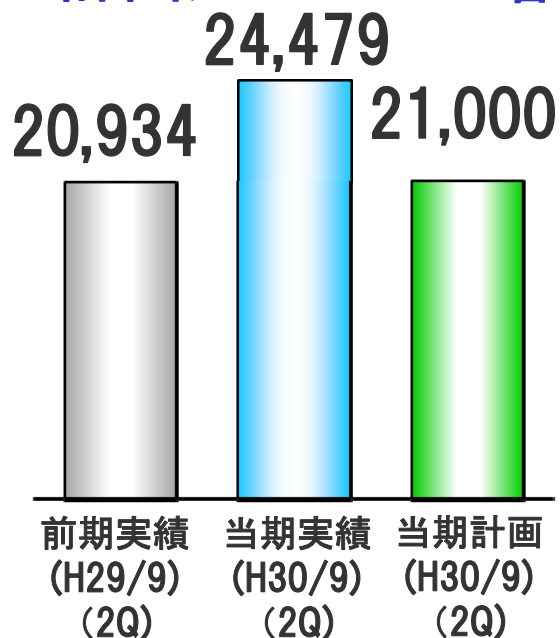
2

- 国内外とも案件が順調に進行し、売上高、営業利益増
- 為替差損等により純利益の増加幅は縮小

単位: 百万円

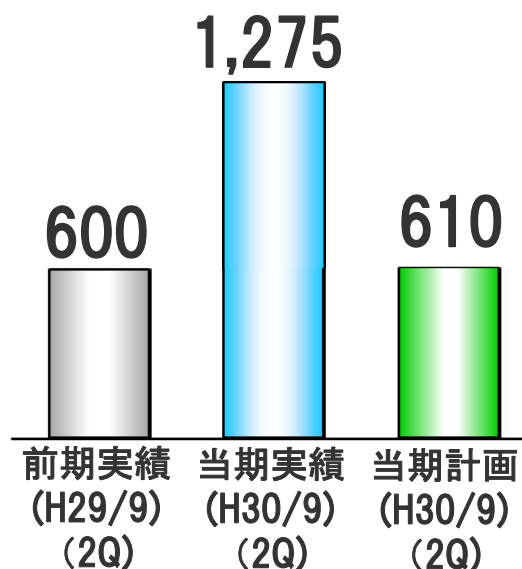
<売上高>

前期比16.9%増
計画比16.6%増



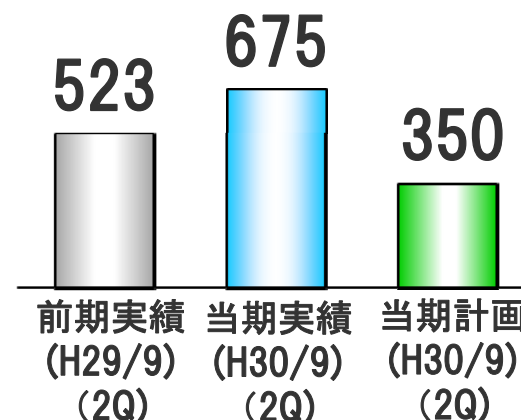
<営業利益>

前期比112.4%増
計画比109.2%増



<純利益>

前期比29.2%増
計画比93.1%増



今回の決算説明会のポイント

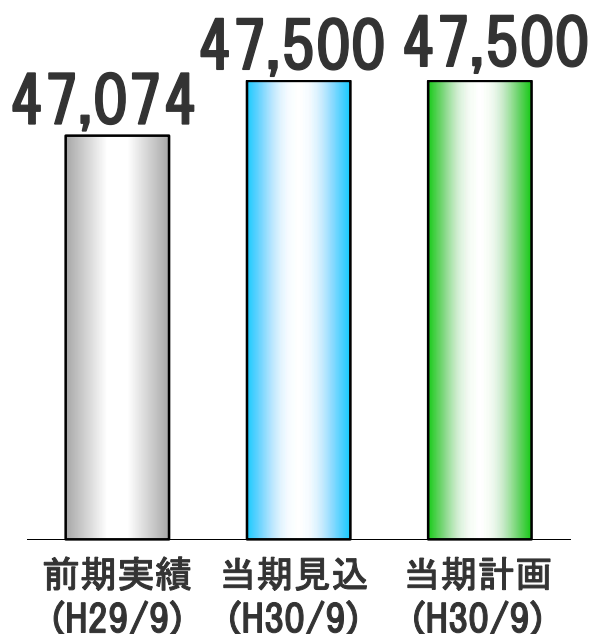
3

- 通期は、すべての指標で過去最高を更新見込
- 6期連続増収増益の見込

単位: 百万円

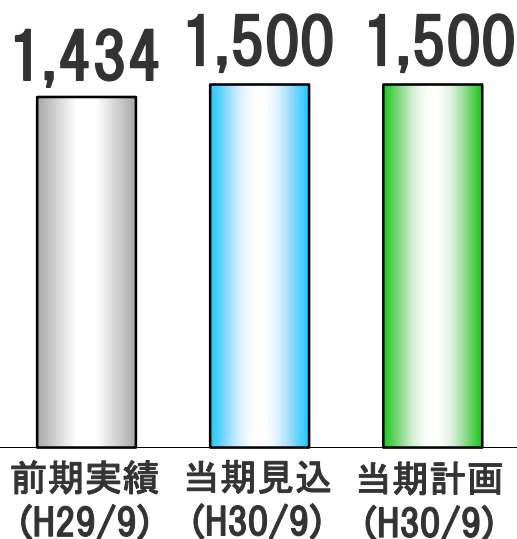
<売上高>

前期比0.9%増



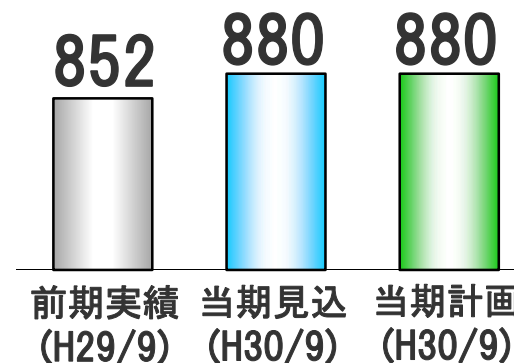
<営業利益>

前期比4.6%増

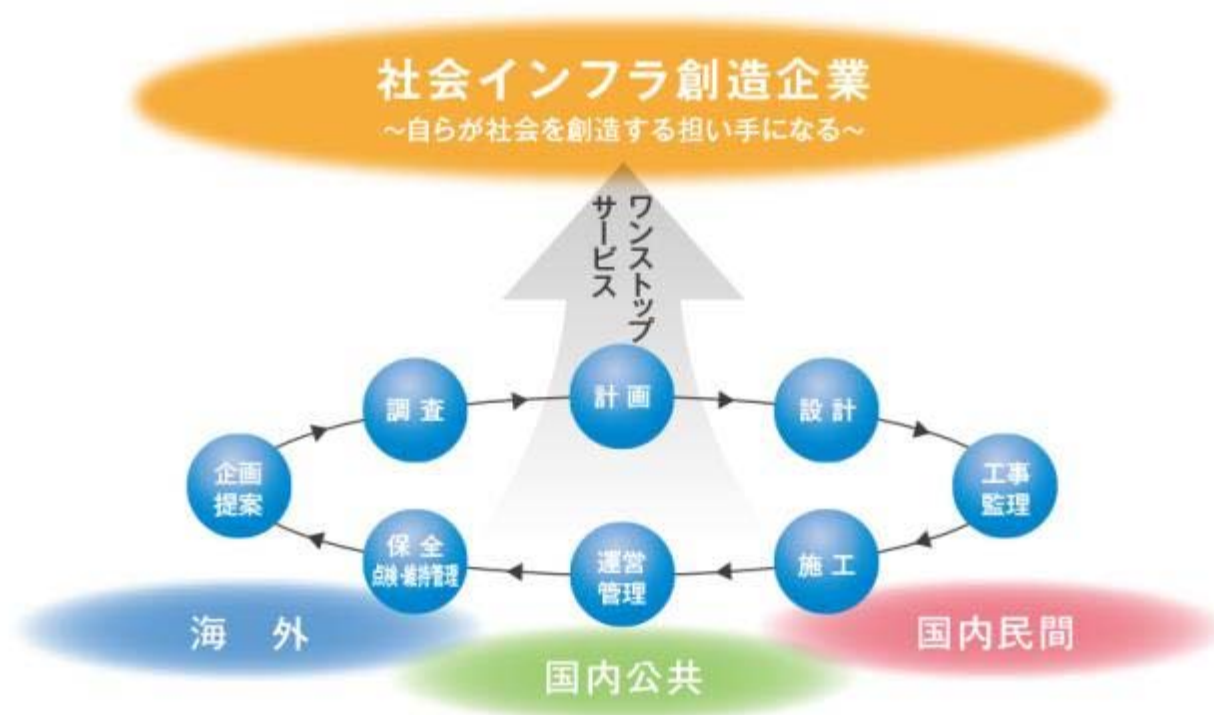


<純利益>

前期比3.2%増



Ⅲ：平成30年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト





1. 平成30年9月期 第2四半期業績

(1)連結受注高

■前期に比べて約123億円(37.1%)の増加

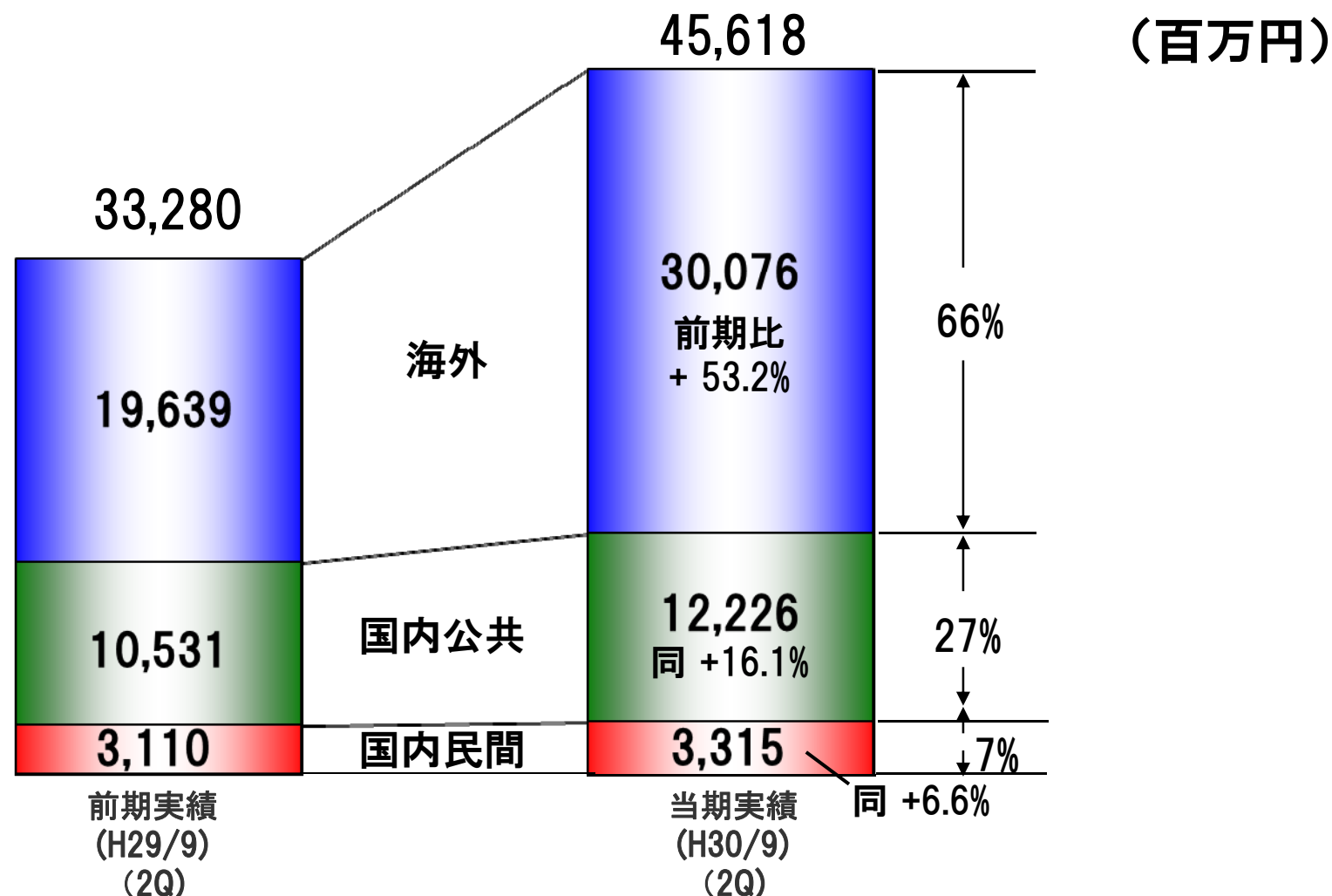
➤ 受注残高も大幅に増加し、今後の売上に貢献

	(百万円)			
	前期実績 (H29/9(2Q))	当期実績 (H30/9(2Q))	増減	当期計画 (H30/9(2Q))
受 注 高	33, 280	45, 618	↑ +12, 338 (+37. 1%)	—
受注残高※	68, 106	93, 115	↑ +25, 009 (+36. 7%)	—

※受注残高: 受注済で生産中の契約総額

(2) 連結受注高 3軸経営分野別

- 3軸ともに増加
- 特に海外事業は複数の大型案件の受注により前期比1.5倍以上



(3) 連結受注高 海外事業の大型受注

国名	事業名
フィリピン共和国	南北通勤鉄道事業(マロロスーツツバン) 施工監理業務
フィリピン共和国	メガマニラ圏地下鉄事業(フェーズ1) 詳細設計調査
フィリピン共和国	「マロロスークラーク鉄道事業」及び 「南北鉄道事業南線」の詳細設計調査
マダガスカル共和国	トアマシナ港拡張事業 施工監理業務
インドネシア共和国	ジャカルタ都市高速鉄道事業(Ⅱ) 施工監理業務

(4)連結売上高、利益

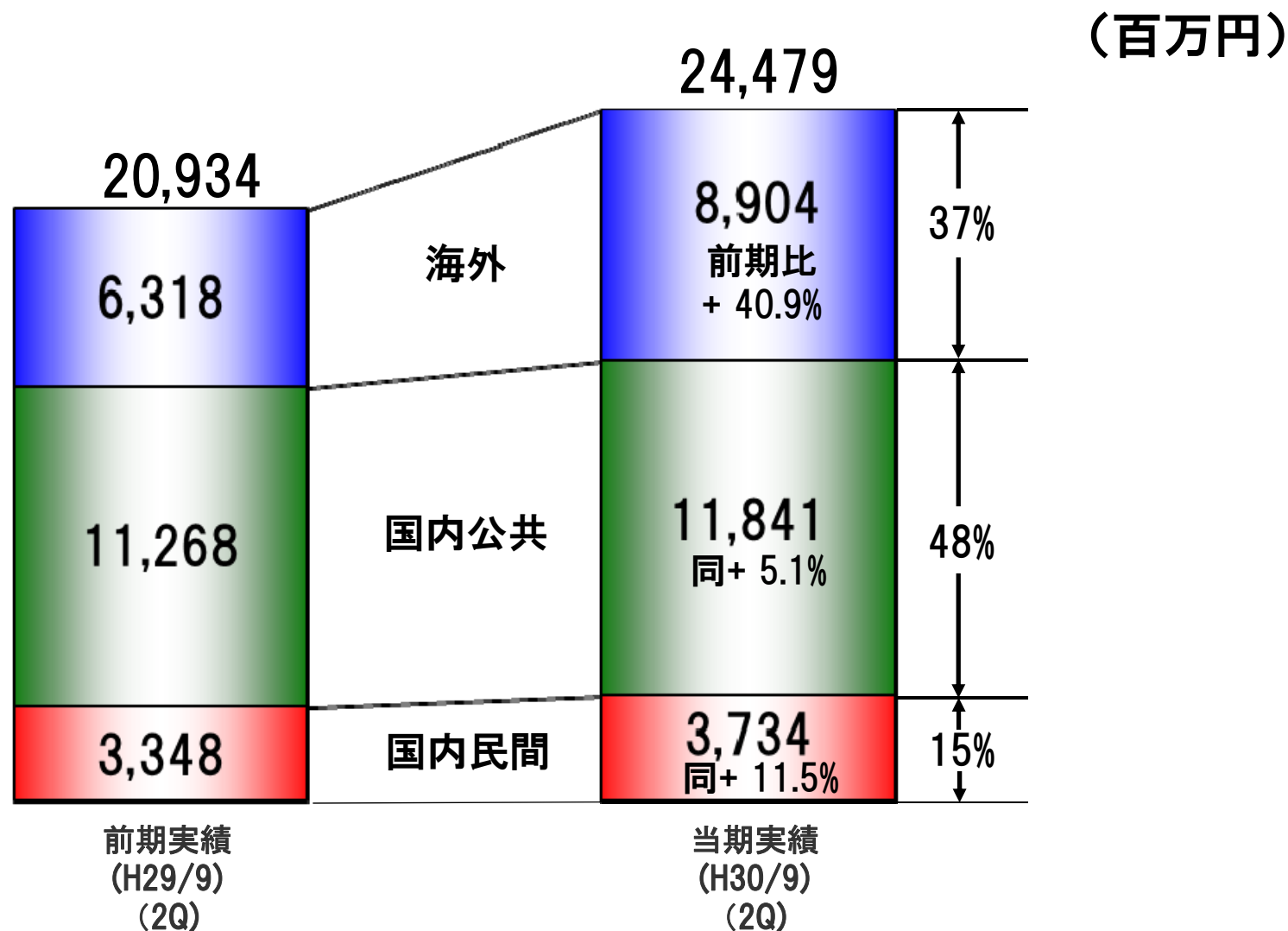
- 売上高の増加により、営業利益増加
- 当期は為替差損が発生し、経常利益の増加幅は縮小
- さらに前期特別利益が当期計上なく、当期純利益の増加幅も縮小

(百万円)

	前期実績 (H29/9(2Q))	当期実績 (H30/9(2Q))	増減	当期計画 (H30/9(2Q))
売上高	20,934	24,479	↑ +3,545 (+16.9%)	21,000
営業利益	600	1,275	↑ +675 (+112.4%)	610
経常利益	687	1,115	↑ +428 (+62.3%)	590
当期純利益	523	675	↑ +152 (+29.2%)	350

(5)連結売上高 3軸経営分野別

■プロジェクトが順調に進捗、3軸とも順調に売上高を伸ばす



2. 平成30年9月期 第2四半期成果ハイライト



(1)事業拡大

■ 4つの個別事業と、4つの統合事業により新たな事業創造を推進



(2)事業拡大

■平成30年9月期は、81件以上の重点化プロジェクトを実施

重点化事業		H30/9期(第13期)		H29/9期 (第12期)	H28/9期 (第11期)	H27/9期 (第10期)
		ACKG	各社			
①	インフラ保全・運営管理	6	21	22	14	13
②	防 災	3	16	7	11	11
③	再生可能エネルギー/スマートコミュニティ	—	2	5	9	7
④	交 通(高度化・総合化)	2	9	12	9	7
⑤	地域活性化	1	10	11	7	2
⑥	事業経営	—	2	10	8	9
⑦	都市再生/民間開発	1	—	4	7	5
⑧	海外新規開拓	5	3	7	7	7
⑨	その他	—	—	—	2	2
合 計		18件	63件	78件	74件	63件
		81件以上				

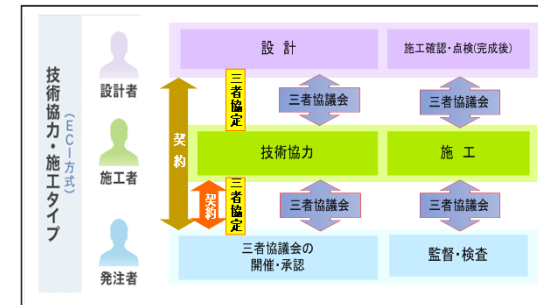
(3)重点化事業(インフラ保全・運営管理)

現在までの取組み事例(抜粋)

■ECI※方式による設計施工の一体的実施を支援(奈良県田原本町)

- ・ 基礎自治体の維持管理業務の効率的・効果的実践を目指し、ECI方式を試行
- ・ 橋梁維持管理におけるECI方式の導入を促進

※ ECIとは、「アーリー・コントラクター・インボルブメント」の略。この方式は設計段階から施工者が参画し、施工の実施を前提として設計に対する技術協力を行う。



ECI方式による契約方式

■鉄道施設を中心に民間インフラ保全業務を拡大

- ・ 鉄道会社の駅舎等建築施設の点検、補修・補強対策などを検討、実施
- ・ 東京地下鉄(東京メトロ様)など首都圏の鉄道会社を中心に実施、今後も顧客拡大を推進



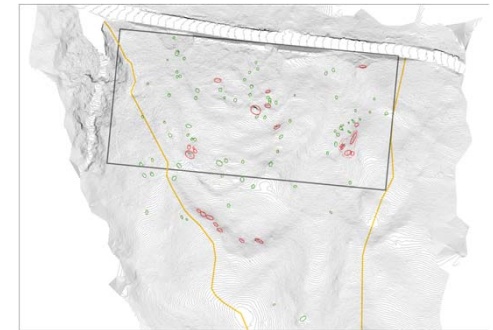
点検時の端末アプリイメージ

(4)重点化事業(防災)

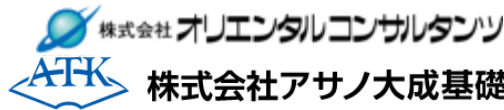
現在までの取組み事例(抜粋)

■道路斜面でUAV※活用による落石抽出調査を実施

- ・道路斜面の落石調査で、安全で効率的なUAVレーザー活用調査を実施
- ・道路防災事業計画の策定支援や、道路防災情報の一元管理を提案

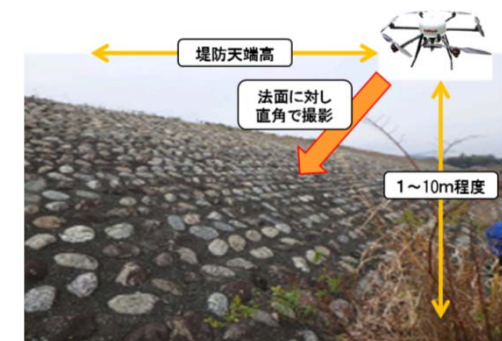


UAVで収集したデータ分析



■UAV※を活用した河川堤防・護岸の調査を実施

- ・河川の堤防や護岸において、目視点検の補完手段としてUAVを活用した調査を実施
- ・河川管理施設の効率的・効果的な点検計画や維持管理に向けた事業計画を推進



護岸調査の様子



※ UAVとは、「Unmanned Aerial Vehicles」の略で無人航空機のこと。

(5)重点化事業(交通(高度化・総合化))

現在までの取組み事例(抜粋)

■ラウンドアバウトの導入を全国で支援

- ・「ラウンドアバウト」の計画、設計を全国32カ所で支援
- ・山陰自動車道大田朝山ICでは我が国初の「ダブルラウンドアバウト」を設計



ダブルラウンドアバウトのイメージ

■自動運転サービスの実証実験を支援

- ・長野県伊那市において、貨客混載の自動運転サービスの実証実験を支援
- ・今後も中山間地域における移動サービスの確保、向上に向けた検討を推進



自動運転車両および実証実験の様子

(6)重点化事業(地域活性化)

現在までの取組み事例(抜粋)

■神奈川県開成町の地酒復活に向けて瀬戸酒造店の醸造を開始 近隣の瀬戸屋敷で発酵による地域ブランドづくりを推進

- ・ 瀬戸酒造店で自家醸造を再開、6月に3種類の日本酒を販売予定
- ・ 瀬戸屋敷で東京農業大学様と連携して未病改善に向けた「はっこう大作戦」を実施
- ・ 新たな地域ブランドづくり、地域活性化をさらに推進



醸造所の全景

■新宿通りでまちの賑わい創出に向けた複合型社会実験を実施

(東京都新宿区)

- ・ 新宿駅東口地区の新宿通り道路空間に仮設歩道を設置し、賑わいと歩行者優先空間の創出に向けた社会実験を実施



仮設歩道 利用の様子

(7)重点化事業(地域活性化)

現在までの取組み事例(抜粋)

■江戸川区まちあるきアプリ「えどぶら」をリリース(東京都江戸川区)

- ・江戸川区のまちあるきアプリ「えどぶら」を、4月にApp Store、Google Playよりリリース
- ・本アプリは、施設のコンテンツ情報を提供するとともに、多機能スタンプラリー、フォトフレーム機能など様々な機能を搭載



「えどぶら」イメージ

■県民共済様向け営業支援システムを全国に展開

- ・自社開発システムの「SOCOCA」をベースに、県民共済様向けに業務支援システムを開発
- ・現在、九州地域や近畿地域で導入されており、今後も全国の県民共済様に展開



タブレットアプリイメージ

(8)重点化事業(海外新規開拓)

現在までの取組み事例(抜粋)

■トアマシナ港拡張事業 起工式(マダガスカル共和国)

- ・トアマシナ港の拡張に向けた設計、施工監理等事業の起工式が平成30年4月に開催
- ・本事業による港湾機能の強化により、同国の経済発展に寄与



完成予想図

■地震に対する防災能力向上に向けた技術協力を実施

- ・モンゴル国の地震災害予防対策強化を目的に、日本のODAプロジェクトに参画
- ・モンゴル国の法制度整備や防災計画、防災教育など防災能力向上を支援

(モンゴル国)



防災情報活用トレーニングの様子

(9)外部評価

◆数多くの表彰獲得・世界への情報発信

■JAPAN コンストラクション国際賞(国土交通大臣表彰)を受賞

- ・「トルコ国ボスポラス海峡横断鉄道プロジェクト」と「カンボジア王国ネアックルン橋梁建設計画」が、JAPAN コンストラクション国際賞(国土交通大臣表彰)を受賞



■モンゴル国から友好勲章を受章

- ・「新ウランバートル国際空港建設事業」に長年従事した功績が評価され、モンゴル国から、前田公博が受章



■日本下水道新技術機構から新技術研究感謝状を授与

- ・「中小規模の都市を対象にしたストックマネジメント等支援に関する手引き書の検討の共同研究」に対する貢献が評価され、日本下水道新技術機構から、感謝状を授与





Ⅳ：平成30年9月期 通期業績見通し

(1)通期業績見通し

■通期は、当期計画を達成する見通し

(百万円)

	前期実績 (H29/9)	当期見込 (H30/9)	増減	当期計画 (H30/9)
売上高	47,074	47,500	↑ + 426 (+ 0.9%)	47,500
営業利益	1,434	1,500	↑ + 66 (+ 4.6%)	1,500
経常利益	1,385	1,490	↑ + 105 (+ 7.6%)	1,490
当期純利益	852	880	↑ + 28 (+ 3.2%)	880

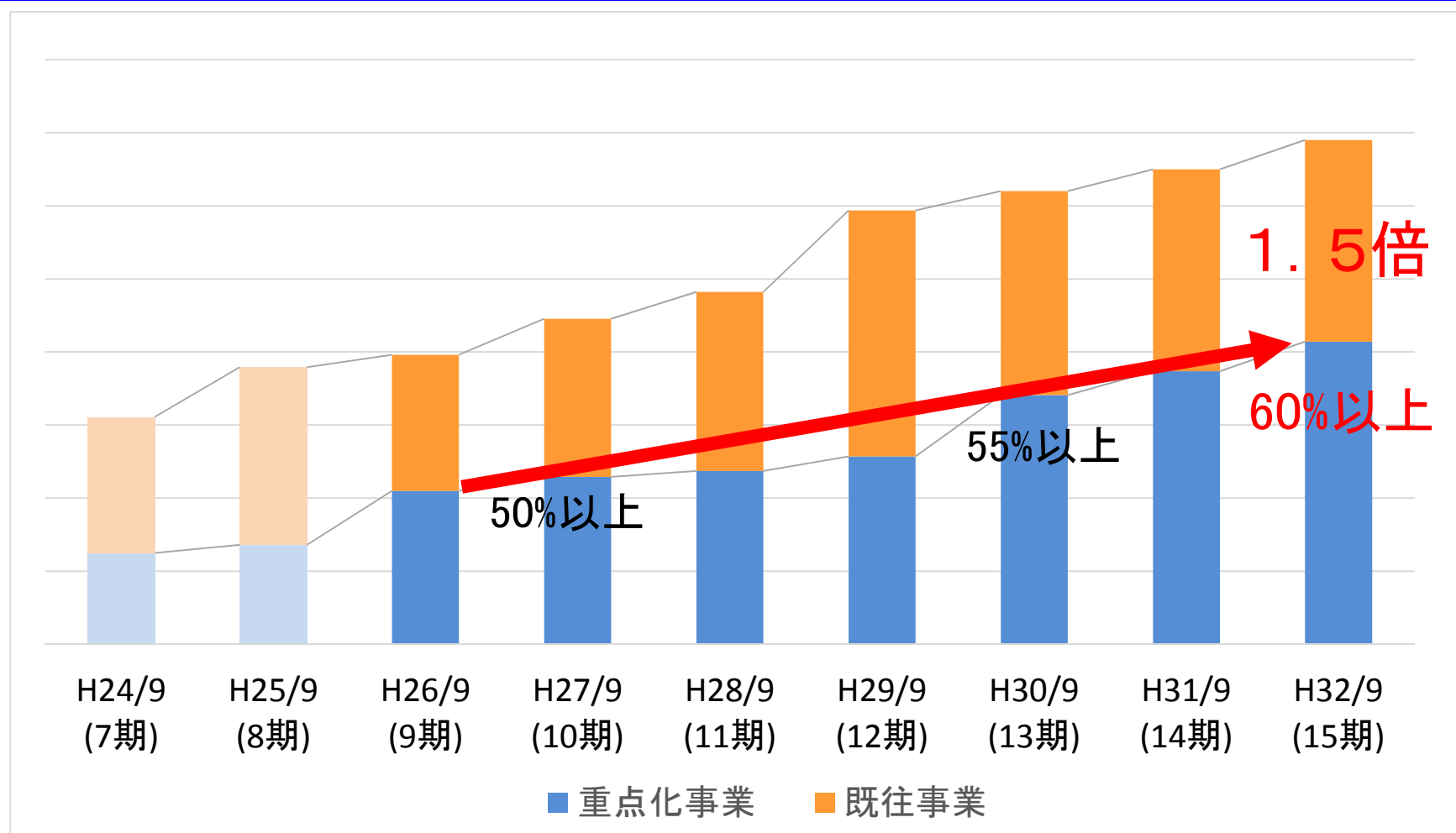
(2)事業拡大

- 6期連続増収増益の見込
- 中期経営計画の目標を每期上回る数値で推移



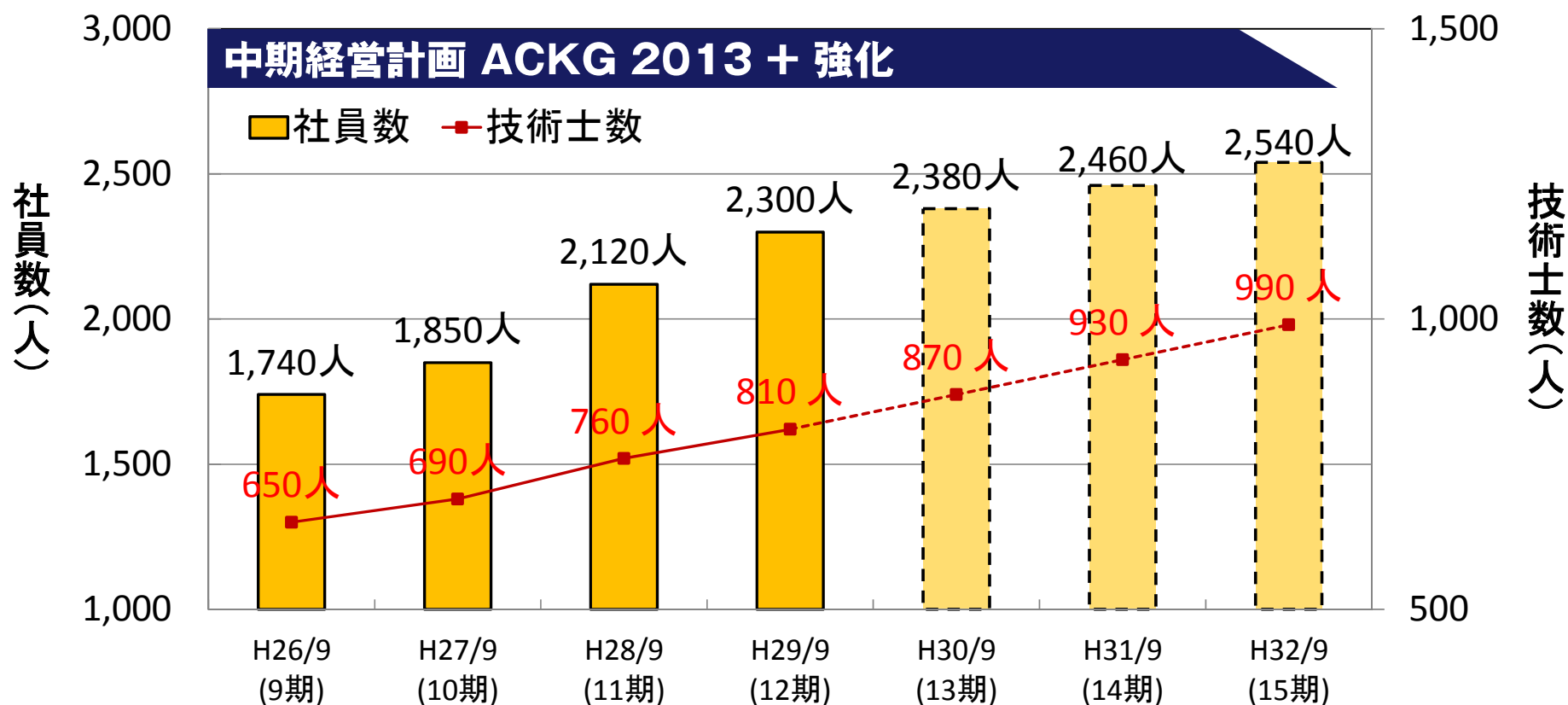
(3)重点化事業の拡大

- 売上高500億円の達成に向けて、重点化事業の受注高を拡大
- 平成26年9月期の1.5倍、全体の60%以上に拡大



(4)人材の確保・育成

- コンサルタント業界における競争力＝「人材」＋「技術力」
- 人材の確保・育成を強化し、受注拡大へ



(5)配当方針

■長期的に安定した利益還元のために、
次の事項を総合的に勘案して配当を決定

過去の連結業績の推移

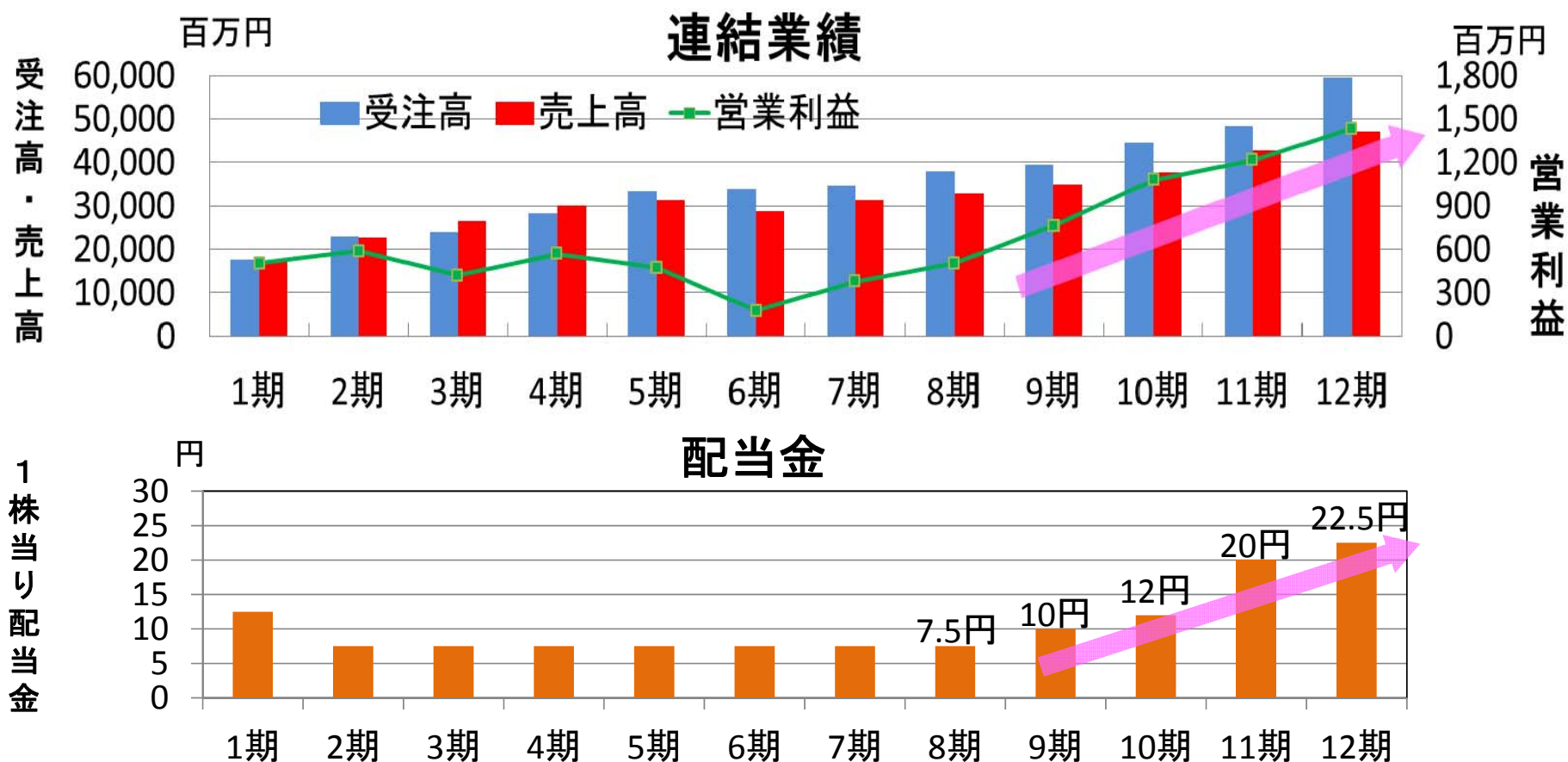
今後の連結業績の見通し

配当性向・配当利回り・自己資本比率等の指標

(6)株主配当

■4期連続増配中

■営業利益の増大とともに、配当金も増大



未来を想像し、価値を創造する企業グループへ

『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』の実現へ
これからもサービス領域の無限大に
チャレンジしてまいります



本資料及び本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

V : 質疑応答



お問い合わせ先



銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498



〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

本日はご多忙の中、
弊社の決算説明会にご来場いただき、
誠にありがとうございました。

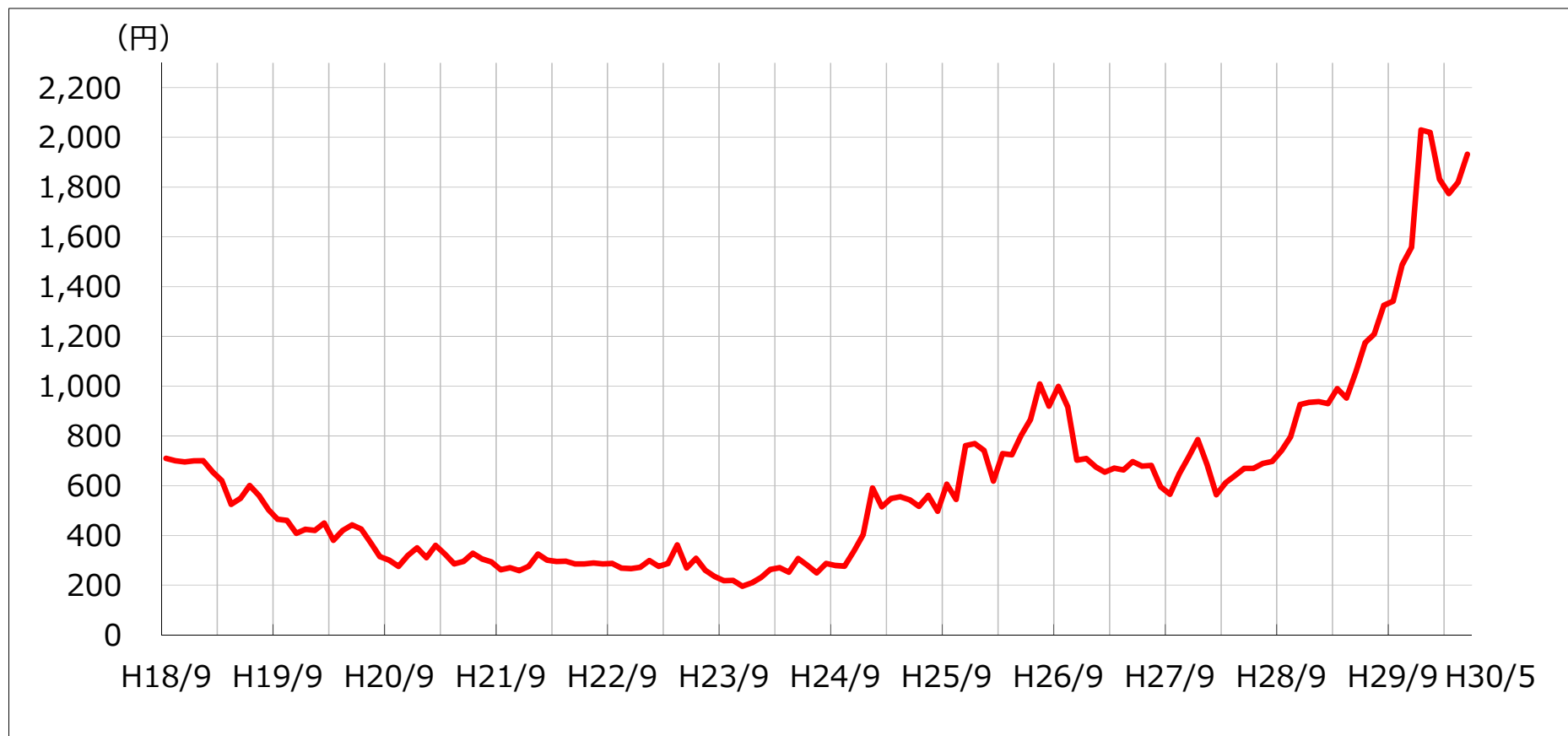


Appendix



(1)株価

最近2年で約3倍に上昇



(2)株主優待制度

毎年6月末を基準日としてクオカードを贈呈

優待内容	100株以上 600株未満	クオカード 500円
	600株以上 1,000株未満	クオカード 3,000円
	1,000株以上	クオカード 5,000円

毎年6月末日現在、当社株式1単位(100株)以上を1年以上継続して
保有されている株主様が対象

(3)指標

	単位	H26/9 (9期)	H27/9 (10期)	H28/9 (11期)	H29/9 (12期)
営業利益率	%	2.2	2.9	3.0	3.0
自己資本純利益率(ROE)	%	8.7	7.6	8.9	10.7
総資産経常利益率(ROA)	%	3.9	4.6	4.1	4.8
自己資本比率	%	28.2	27.6	26.3	28.5
有利子負債	百万円	754	1,259	1,717	1,319